

授業改善書

科目名	心理実習
担当者	伊里 綾子

授業の概要

学外実習施設（保健医療、福祉、教育、産業・労働領域等に関する専門機関）における見学等の実習および、その事前学習と事後学習を通じて、（ア）要支援者へのチームアプローチ、（イ）多職種連携及び地域連携、そして（ウ）公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解の３点について学び、実習担当教員ならびに実習施設の実習指導者による指導を受ける。

授業の問題点

いずれのアンケート項目も平均点よりも高く、大きな問題点は見られなかった。
学生が積極的に参加することが求められる科目であり、多くの外部施設での実習が夏休みから秋学期にかけて実施される。そのため、今後は学生一人一人が、それぞれの課題や目標を見つけて実習に取り組み、有意義な体験ができるよう、より個人に合わせたフィードバックが求められる。

学生の授業満足度

学生の満足度は全員が５点の回答をしていた。予習復習に関するアンケート項目や、質問・発言の多さに関する項目の得点は平均を大幅に上回っていたため、学生一人一人が調べ学習や見学実習に積極的に取り組んだ結果であると考えられる。

授業改善の課題と方策

現場での実習も始まっているが、実際に実習に参加してみると、調べ学習では想像ができていなかった難しさに直面する学生も多いように思われる。

実習後は現場の難しさを言語化するよう促し、各学生にあったフィードバックを行い、場合によってはロールプレイなども用いて実際にどのように動けばよいかをイメージしてもらう工夫をするなどしていきたい。そのうえで、準備をして次の実習に臨むよう促し、学生一人一人が成長を実感できる実習としたい。

その他

特になし。